

### 中小規模事業者様の「脱炭素経営」メリット・取組方法をご紹介します

環境省:脱炭素ポータルより

#### 脱炭素経営に取り組む5つのメリット

**1**

**優位性の構築**

**2**

**光熱費・燃料費の低減**

**3**

**知名度・認知度向上**

**4**

**社員のモチベーション・人材獲得力向上**

**5**

**好条件での資金調達**

脱炭素経営が経営メリットに繋がるのか!

脱炭素経営に興味が出てきたぞ。

#### 取組み方は3ステップ

脱炭素経営はどうやって取り組めばいいの?

脱炭素経営で新たな強みをつくるには、進め方も重要です。「知る」「測る」「減らす」の3つのステップで取り組みましょう。

**①知る**

- ✓ カーボンニュートラルに向けた潮流を自分事で捉えよう
- ✓ 脱炭素経営で目指す方向性を検討しよう

**②測る**

- ✓ 自社のCO<sub>2</sub>排出量を算定しよう
- ✓ 主要な排出源を把握して、どこから削減に取り組むべきか、あたりを付けよう

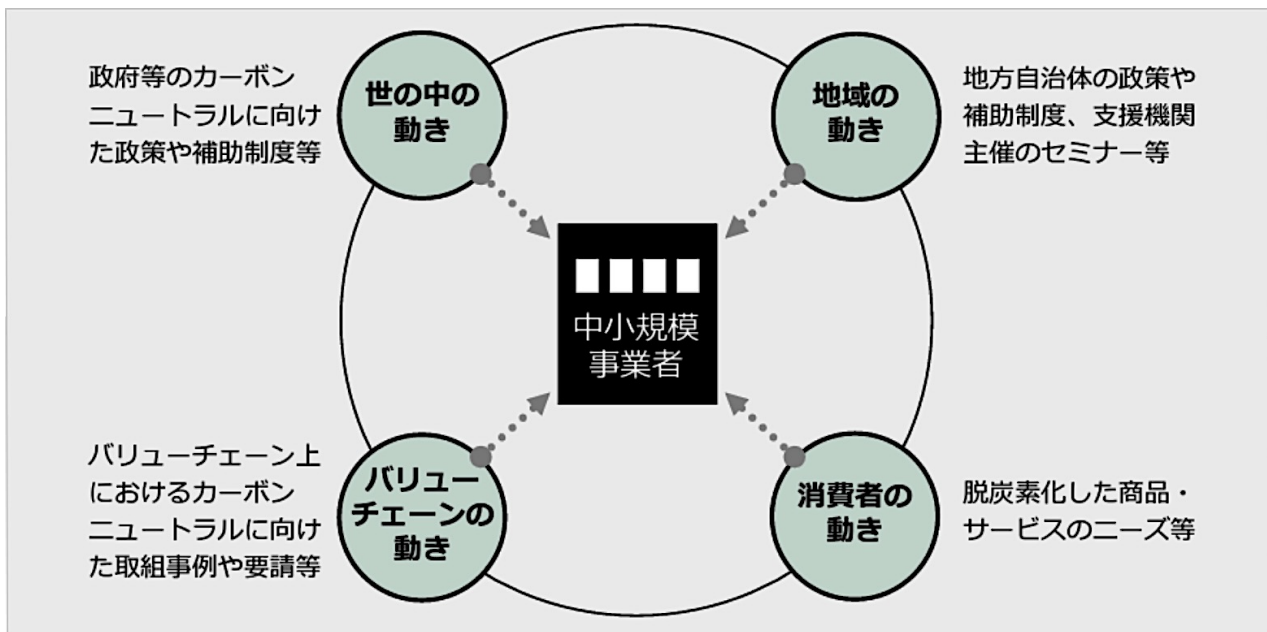
**③減らす**

- ✓ 削減対策を検討し、実施計画を策定しよう
- ✓ 削減対策を実行しよう

もっと脱炭素経営のことが知りたくなりました!

さらに詳しい情報がありますよ!

脱炭素経営をさらに詳しく知りたい方はこちら



## • 地方自治体や商工会議所や金融機関に相談してみる

地方自治体や商工会議所、地域金融機関等では、脱炭素経営に関連する相談窓口等を設けているところがあります。相談することで、今後のヒントを得られる場合もあるため、何から始めればよいか分からない時や行き詰まった時は、相談してみましょう。

一例として、中小企業基盤支援機構で開設されている「カーボンニュートラル相談窓口」のリンク先をご紹介します。全国どこからでも無料で経験豊富な専門家によるアドバイスを受けることができます。

## • イベント、セミナーで情報収集してみる

現在、脱炭素経営に関連するセミナーや講演会は、数多く開催されています。積極的に参加することで、世の中や地域、業界におけるカーボンニュートラルに向けた目標や取組、同業他社の動きを把握することができるかもしれません。ぜひ一度、参加を検討してみてくださいはいかがでしょうか。

## • ガイドブックや他社の事例を確認してみる

環境省では、中小規模事業者向けの脱炭素経営導入ハンドブック、企業の取組を紹介した事例集、また既に脱炭素経営を進めておられる各企業にインタビューした動画等、様々なコンテンツを公開しております。是非、ご覧ください。以下に、それらのリンクをご紹介します。

「測る」、「減らす」についての詳しい内容や具体的な支援策については以下のガイドブックを入手ください。



## ＜特集＞

# ゼロカーボンアクション30とは

地方自治体において脱炭素社会の実現への進捗状況はどう判定したらいいのでしょうか？有効な測定方法が無いので、個別の脱炭素アクションを積み上げるしかないと考えます。大きなカーボンニュートラルプロジェクトやシステムを導入しても全体から見ればごく一部の達成しか得られません。住民と地元企業を巻き込んだ下記『ゼロカーボンアクション30』に沿ったイベントや活動を計画的に地道に行っていく、活動として記録しておくことが重要だと思われます。

環境省:脱炭素ポータルより



### エネルギーを節約・転換しよう！

#### Action

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る
- 7 消費エネルギーの見える化



### CO2の少ない交通手段を選ぼう！

#### Action

- 15 スマートムーブ
- 16 ゼロカーボン・ドライブ



### サステナブルなファッションを！

#### Action

- 21 今持っている服を長く大切に着的
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ



### CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう！

#### Action

- 28 脱炭素型の製品・サービスの選択
- 29 個人のESG投資



## ＜特集＞ ゼロカーボンアクション30とは

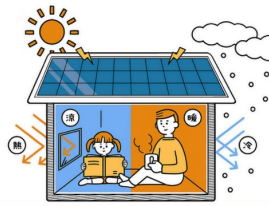
環境省：脱炭素ポータルより



### 太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！

#### Action

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH（ゼッチ）
- 10 省エネリフォーム窓や壁等の断熱リフォーム
- 11 蓄電池（EV・車載の蓄電池）・蓄エネ給湯機の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫



### 食ロスをなくそう！

#### Action

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト



### 3R（リデュース、リユース、リサイクル）

#### Action

- 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。  
マイバッグ、マイボトル等を使う
- 25 修理や補修をする
- 26 フリマ・シェアリング
- 27 ごみの分別処理



### 環境保全活動に積極的に参加しよう！

#### Action

- 30 植林やごみ拾い等の活動



繰り返しになりますが、脱炭素の進行程度を測定する器機はありません。脱炭素実現の進捗を判断するには、脱炭素に有効な項目の達成とその規模から進捗状況を判定するしかないと思われまます。つまり住民や地元企業の一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。皆で上記「ゼロカーボンアクション30」のできるところから取り組んで脱炭素を実現するのです。

次回以降、上記の『ゼロカーボンアクション30』の各項目毎に詳細内容と事例等を紹介していき、最終的には脱炭素チェックシートを作成できればと思います。

# SCN

## NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会

### SCNの活動

島原市の「ゼロカーボンシティ宣言」(R5/4/18)を受け、まだまだ認知が薄い市民の環境意識の向上を目的にNPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会主催、島原市・島原市教育委員会共催で『島原カーボンニュートラルコンテスト2023!』を企画。

#### ▼コンテスト内容

【学生の部】カーボンニュートラル学生作品コンテスト

2023年10月1日～2023年11月30日

【一般の部】住宅・事務所・工場のカーボンニュートラル実施事例コンテスト

2023年10月1日～2024年3月31日

**島原カーボンニュートラル  
コンテスト2023! (学生作品の部)**  
応募期間: 令和5年10月1日～11月30日  
参加学生を募集します!



作品例

◆ NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会 (主催)  
◆ 島原市・島原市教育委員会 (共催)

**島原カーボンニュートラル  
コンテスト2023! (一般市民・企業・団体の部)**  
応募期間: 令和5年10月1日～令和6年3月31日



**ZEH**

**応募対象者**  
島原市内の個人、および事業所を有する企業、または法人格を持つ団体

**テーマ**  
【地球温暖化対策に向けた住宅・事務所・工場での導入事例】  
 住宅・事務所・工場での ZEH(ゼロエネルギーハウス)導入事例  
 住宅・事務所・工場での V2H(Vehicle to Home)導入事例  
 住宅・事務所・工場での地産地消型太陽光パネル導入事例 など

**表彰**  
最優秀賞 1点 トロフィー 副賞 (賞金 20万円)  
優秀賞 2点 トロフィー 副賞 (賞金 5万円)

◆ NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会 (主催)  
◆ 島原市 (共催)

詳しくは 島原カーボンニュートラル推進協議会ホームページから→ <https://www.scn-pc.jp>

## <最近のトピックス>

・デンソー、水素製造の装置外販に乗り出す



デンソーが開発した水素製造装置のSOEC(固体酸化物形水電解用セル)は、セラミック膜を電解質として約700度の高温で作動し、水蒸気を電気分解して水素を製造する。

・NTT西日本Gとマクニカ、自動運転シャトルバスでの社会実装試験で提携



NTT西日本、NTTビジネスソリューションズ、マクニカの3社は、ドライバー不足による路線バスの運行減少等の社会課題の解決に向け、自動運転サービスの社会実装を加速させるため提携する。

・新鋭家電メーカーのバルミューダ、小型の風力発電機を開発



バルミューダは小型風力発電の研究開発への取り組みとして、2023年秋に実証実験を行うと発表した。小型かつ高効率の風力発電を実現するため、独自の発電用タービンの開発を進めている。

・三菱重工長崎、脱炭素化に向け「長崎カーボンニュートラルパーク」の運用を開始



三菱重工は同社グループのエネルギー脱炭素化に関する技術開発を推進する中心拠点として「長崎カーボンニュートラルパーク」を長崎市内にて整備し、その運用を開始したことを発表した。

・さいたま市と出光興産、再生可能エネルギーでのEV急速充電サービス協業



さいたま市と出光興産は、「ゼロカーボンシティ実現に向けた共創推進に関する連携協定」のもと、環境・エネルギーの分野で連携・協働を発表した。

・松阪市(三重県)、EV充電設備を無償で設置



松阪市は「ゼロカーボンシティ宣言」に伴い同市公共施設の駐車場をTerraMotors社に無償貸与し、同社が無償でEV充電設備を設置する。産業振興センターや農業屋コミュニティ文化センター、同市図書館など8カ所を先行導入する。

・イヴェコ社、商用向けのバッテリー交換システム発表



商用車メーカーのイヴェコが、バッテリー交換システムを搭載する商用EVを発表。必要に応じてバッテリーサイズを変更することで、柔軟な運用が可能になるとしています。

・港の海藻で脱炭素、7年後にはCO2吸収量の12%のブルーインフラ



海藻などが光合成で温室効果ガスの二酸化炭素(CO2)を吸収することに着目し、港湾に藻場を形成する「ブルーインフラ」の取り組みが全国で本格化している。

・EV充電器、30年に30万口へ 経産省が目標引き上げ発表



経済産業省は電気自動車(EV)などの充電器の設置目標を2030年までに30万口とする整備指針案を公表した。従来目標は15万で2倍に引き上げた。足元の設置数と比べると新目標は10倍となる。商業施設などへの設置を呼びかけるとのこと。

NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会の運営は、活動を応援して下さる個人や企業、団体の寄付やご協賛によって行われます。会の趣旨をご理解頂き、協賛・参加等の応援で、カーボンニュートラルで実現する素晴らしい島原の未来をご一緒に実現しましょう

◆協賛会員：【島原市役所】【長崎三菱自動車(株)島原支店】【(株)福栄】【林田建工】

※参加申込や詳細は下記のSCNホームページ(QRでスマホでも提供)まで

NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会 理事長 林田 勉  
〒859-1404 長崎県島原市有明町湯江丁2 9 3 2  
TEL : 050-5211-5530  
Mail : info@scn-pc.jp、HP : https://www.scn-pc.jp

